

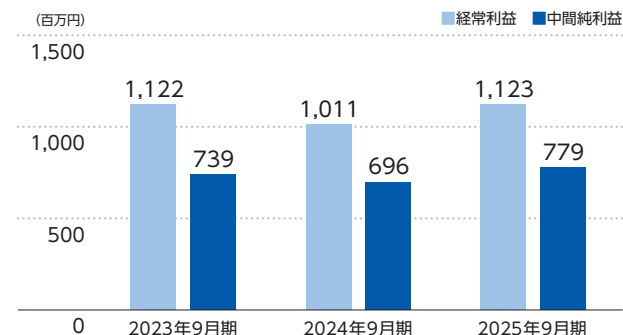
業績ハイライト

2025年中間期の決算は、5年連続増収、2年ぶり増益となりました。経常収益は貸出金利息などの増加により増収となり、中間純利益についても、コア業務純益が増加したことや、与信関連費用が減少したことで、増益となりました。また業容についても、預金残高、貸出金残高とも中間期末過去最高を更新し、順調な推移となりました。自己資本比率は前年同期比0.44ポイント上昇の8.57%と、国内基準の4%を大きく上回り、不良債権比率も1.01%と、引き続き健全な水準を維持しております。

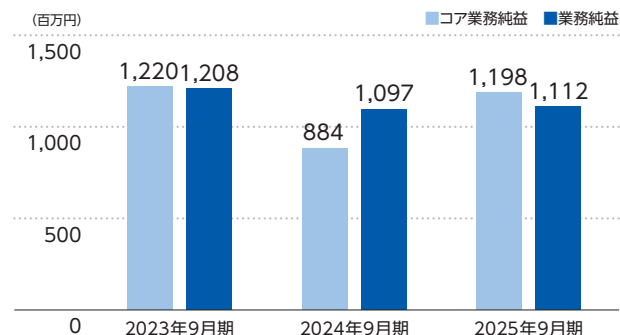
用語解説 コア業務純益

コア業務純益とは、一般企業の営業利益に相当する業務純益から、国債等債券関係損益や一般貸倒引当金繰入額など一時的な変動要因を控除したもので、金融機関の本来業務から得られる利益となります。

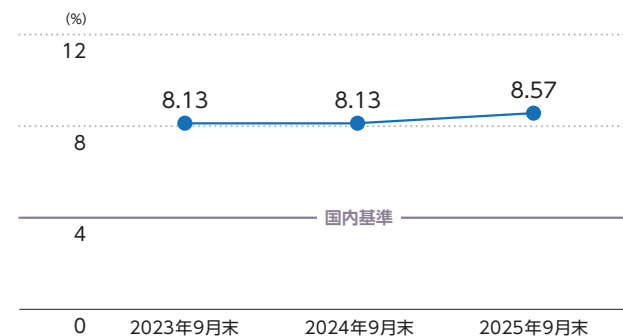
経常利益／中間純利益 (単体)



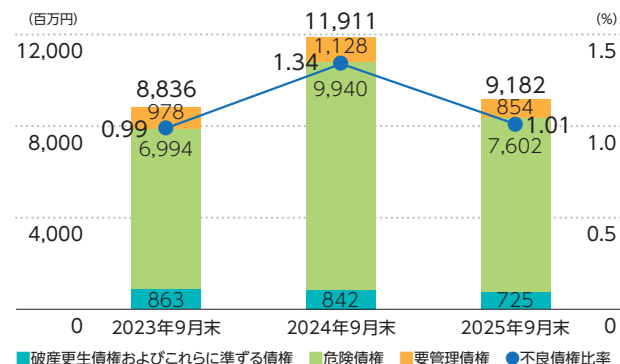
コア業務純益／業務純益



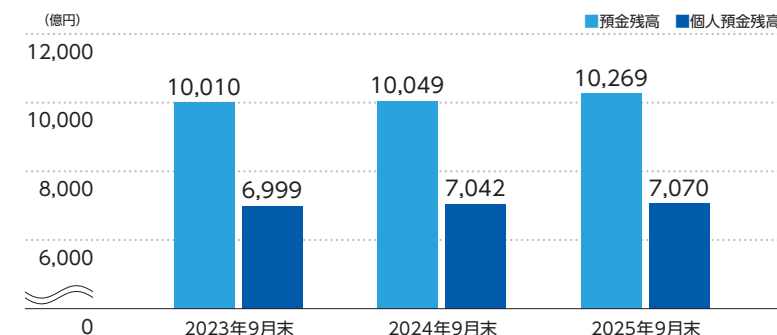
自己資本比率 (単体)



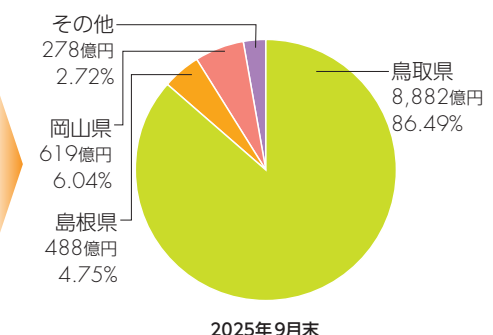
不良債権の状況 (単体)【金融再生法ベース】



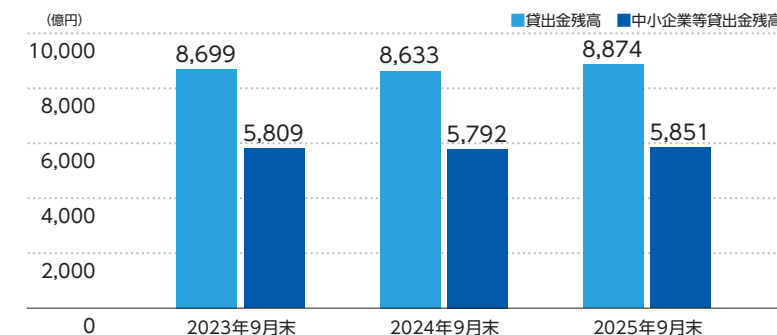
預金残高 (単体)



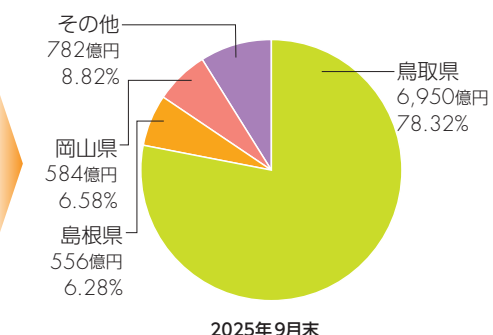
地域別預金残高



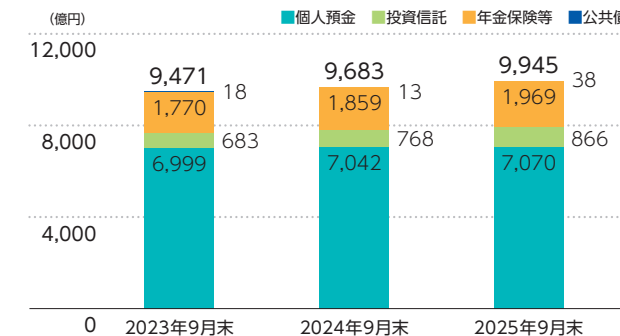
貸出金残高 (単体)



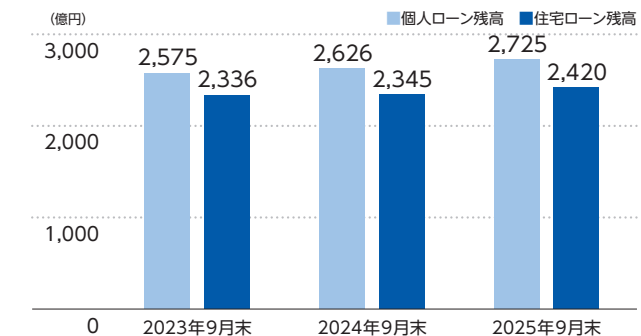
地域別貸出金残高



個人預かり資産残高 (単体)



個人ローン残高 (単体)



中間貸借対照表 (単位：百万円)

科 目	前中間期 (2024年9月30日現在)	当中間期 (2025年9月30日現在)
資産の部		
現金預け金	112,226	88,153
有価証券	112,700	119,740
貸出金	863,335	887,485
外国為替	802	700
その他資産	7,261	2,587
有形固定資産	10,170	9,841
無形固定資産	916	1,017
前払年金費用	3,447	3,598
繰延税金資産	2,015	2,040
支払承認見返	3,263	2,642
貸倒引当金	△4,675	△3,227
投資損失引当金	△9	△9
資産の部合計	1,111,455	1,114,571
負債の部		
預金	1,004,926	1,026,905
コールマネー	53	61
借入金	42,000	24,000
外国為替	24	78
その他負債	9,961	8,633
賞与引当金	451	483
退職給付引当金	1,685	1,729
偶発損失引当金	338	398
再評価に係る繰延税金負債	549	564
支払承認	3,263	2,642
負債の部合計	1,063,255	1,065,497
純資産の部		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	6,452	6,452
利益剰余金	32,961	33,826
自己株式	△679	△680
株主資本合計	47,795	48,660
その他有価証券評価差額金	△477	△447
繰延ヘッジ損益	△0	△1
土地再評価差額金	881	862
評価・換算差額等合計	404	413
純資産の部合計	48,200	49,073
負債及び純資産の部合計	1,111,455	1,114,571

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書 (単位：百万円)

科 目	前中間期 (2024年4月 1日から 2024年9月30日まで)	当中間期 (2025年4月 1日から 2025年9月30日まで)
経常収益	8,454	8,531
経常費用	7,442	7,407
経常利益	1,011	1,123
特別利益	—	—
特別損失	10	0
税引前中間純利益	1,000	1,123
法人税、住民税及び事業税	624	485
法人税等調整額	△319	△141
法人税等合計	304	343
中間純利益	696	779

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (2025年9月30日現在)

本店所在地	鳥取市永楽温泉町171番地
前身銀行設立	1921年(大正10年)12月15日
創 立	1949年(昭和24年)10月1日
資 本 金	90億円
店 舗 数	65ヵ店：県内53ヵ店、県外12ヵ店 (その他1事務所)
従 業 員 数	662人
総 資 産	1兆1,145億円
預 金	1兆269億円
貸 出 金	8,874億円



中間連結貸借対照表 (単位：百万円)

科 目	前中間期 (2024年9月30日現在)	当中間期 (2025年9月30日現在)
資産の部		
現金預け金	112,226	88,153
有価証券	113,058	120,092
貸出金	862,760	886,856
外国為替	802	700
その他資産	9,024	4,456
有形固定資産	10,172	9,842
無形固定資産	918	1,018
退職給付に係る資産	3,891	3,715
繰延税金資産	1,824	1,932
支払承認見返	3,263	2,642
貸倒引当金	△4,720	△3,266
投資損失引当金	△9	△9
資産の部合計	1,113,212	1,116,135
負債の部		
預金	1,004,900	1,026,892
コールマネー及び売渡手形	53	61
借入金	42,000	24,000
外国為替	24	78
その他負債	10,776	9,474
賞与引当金	455	486
退職給付に係る負債	1,682	1,721
偶発損失引当金	338	398
再評価に係る繰延税金負債	549	564
支払承認	3,263	2,642
負債の部合計	1,064,044	1,066,320
純資産の部		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	6,452	6,452
利益剰余金	33,291	34,216
自己株式	△680	△680
株主資本合計	48,126	49,050
その他有価証券評価差額金	△273	△311
繰延ヘッジ損益	△0	△1
土地再評価差額金	881	862
退職給付に係る調整累計額	309	86
その他の包括利益累計額合計	918	635
非支配株主持分	123	129
純資産の部合計	49,167	49,814
負債及び純資産の部合計	1,113,212	1,116,135

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書 (単位：百万円)

科 目	前中間期 (2024年4月 1日から 2024年9月30日まで)	当中間期 (2025年4月 1日から 2025年9月30日まで)
経常収益	8,639	8,713
経常費用	7,596	7,572
経常利益	1,042	1,141
特別利益	—	—
特別損失	10	0
税金等調整前中間純利益	1,031	1,140
法人税、住民税及び事業税	631	489
法人税等調整額	△317	△140
法人税等合計	314	348
中間純利益	717	792
非支配株主に帰属する中間純利益	4	3
親会社株主に帰属する中間純利益	713	789

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

表紙

これなあに？

快晴の伯耆大山山頂

中国地方最高峰の名峰

鳥取県の西部に位置する大山は、標高1,729mを誇る中国地方最高峰で、1936年には日本で3番目に国立公園として指定されました。四季折々の風景を堪能できるだけでなく、見る角度によって表情を変え、雪が積もった姿は「伯耆富士」とも呼ばれています。快晴時には、県東部の鳥取砂丘からもその眺望を楽しむことができます。